

-----9月3日-----

※ 今週のアウトルック (9/3~9/7)

先週はもみ合いが続いたのち、金曜日のバーナンキ議長の発言をもとに、ドル売りが進みました。

ただ、QE3実施がどこまで現実味があるのか、解釈も分かれているようです。他の要人発言などでQE3期待が裏切られるようなものがあれば、一気に反転する状況も考えられますので、難しいところだとは思いますが。

今週は米国雇用統計も週末に控えており、神経質な展開が予想されます。

ドル円はドル売りトレンドの中、78.2円付近でかろうじて下げ止まった形です。ただ、ユーロドルではもう一段のドル売りはあるかもしれません。

週後半には米国雇用統計の結果に焦点は移りそうなので、かなり難しい展開が予想されます。

要人発言にも神経質に反応しそうなので、当面注意が必要です。

ドル円の予想レンジは77.8円から79円です。

ユーロはドル売りの影響で、ユーロドルが1.275あたりまで上昇する可能性が出てきたように思います。

ドル軟調、ユーロ圏がひとまず落ち着いているうちに、買い戻しがどの程度進むのか、試しに行く状況も考えられます。

ユーロ円は99円から100円の厚い壁が問題となりそうですが、ユーロドルが勢い付けば、ここを突破する可能性も出てきそうです。

ユーロ円の予想レンジは98円から101円です。

ポンド円は125.5円付近のレジスタンスに阻まれています。

今週、ドル売りが本格化してしまった場合には、下落トレンドに入ってしまう可能性も出てくるように思います。

ポンド円の予想レンジは123円から125.5円です。

今週はQE3の可能性を示唆する要人発言や、米国雇用統計を示唆するマクロ指数に大きく左右されそうです。

すぐに原因を探れない急激な動きもありそうなので、注意が必要です。

免責事項

当レポートを参考にトレードを行い、損失が生じた場合でも、責任は負いかねますのでご了承ください。